

## 日頃の練習成果を披露

●第4回合川地区文化交流会・第22回合川芸文祭



▲客席もいっしょにリズムに合わせ楽しんだ北秋田市ドラムサークルのドラム演奏

第4回合川地区文化交流会及び第22回合川芸文祭が7月4日、合川農村環境改善センターで開催されました。開会式で佐藤泰子実行委員長は、「各団体が、日頃の練習の成果を展示・演示の部で披露します。最後までゆっくりとご覧ください」とあいさつ。午前中の交流会では、日本舞踊藤蔭流合川鳳扇会の舞踊や浜辺の歌音楽館少年少女合唱団&MMCのコーラスなどに大きな拍手が送られました。午後の芸文祭では、演示部門でコーラス、民謡、吹奏楽など14団体の学習成果が披露され、出演者が熱演しました。また、展示部門には陶芸、華道、俳句などの作品が会場に展示され、訪れた人たちはじっくりと鑑賞していました。

## 稲穂が実るまで花で彩り豊かに

●綴子大太鼓の里保全隊 花の植栽活動



▲サルビア約7000本を植えた大太鼓の里保全隊の花の植栽活動

綴子大太鼓の里保全隊(藤島勝政隊長)による花の植栽活動が7月4日、同地区内の農免農道「稲穂ロード」で行われ、子どもたちも含め地域住民約300人が環境保全活動に汗を流しました。開会式で藤島隊長は「稲穂ロードは、稲が風になびいている中の道路。稲穂が実る秋までは、たくさん花で彩られたフラワロードとして美化向上に努めていきたい」とあいさつしました。今年、サルビアの苗約7000本が用意され、田中地区から糠沢地区までの3・3キロに植栽。苗が配られると、親子や隣近所同士が等間隔に広がり、持ち寄った植ベラを使っていねいに苗を植えています。津谷市長も市民らと一緒に植栽作業で汗を流しました。

## 本城政市さんが国土緑化推進機構理事長賞

●平成21年度緑化功労者表彰



▲本城政市さんが国土緑化推進機構理事長賞の受賞を津谷市長に報告

北秋田地方林業後継者連絡協議会の本城政市会長(藤株)が、長年の緑化推進運動が認められ、国土緑化推進機構理事長賞を受賞し6月28日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。本城さんは、同協議会のボランティア活動として、市内の保育園や小学校で間伐材を使った虫かごやクリスマスツリーづくりなどを継続的に行っており、その活動が評価されたものです。本城さんは「30年近くやってきたことがようやく認められた。北秋田全体の会の活動としていただけたもの」などと感想を話していました。津谷市長は「森林・林業に携わっている方が評価され、大変嬉しい。これからも頑張ってもらいたい」と祝福しました。

## 全国大会入賞目指し頑張れ南っ子

●鷹巣南小に応援たれ幕贈呈



▲鷹巣南小学校後援会が同校自転車部の全校大会出場を祝いたれ幕を贈呈

交通安全子ども自転車秋田県大会で優勝を果たした鷹巣南小学校(佐藤和博校長)に同校後援会(山田耕三会長)が7月15日、全国大会出場を祝い応援たれ幕を贈呈しました。同校の自転車部(成田敬監督)は、県大会において、昨年に続き、団体の部でAチームが優勝、Bチームも2位と健闘し、個人の部では、1位から6位までの上位を独占して全国大会出場となりました。贈呈式で、山田会長は「皆さんの頑張りが、地域の人たちに元気を与えてくれました。全国大会の入賞を目指し頑張ってきてください」と激励しました。堀部綾乃主将(6年)は「全校大会では10位以内を目指して頑張ります」と部員を代表してお礼を述べました。

## 合川高校として最後のインターハイへ

●合川高校全国大会出場報告



▲市長が選手一人ひとりに激励のことばをかけて握手を交わし、健闘を誓い合う

第56回全県高校総体等で好成績を収めた市立合川高校(齊藤和彌校長)の選手らが7月15日、市役所を訪れ、市長に成績と全国大会への出場を報告しました。報告に訪れたのは、全国大会に出場を決めたフェンシング部、ソフトテニス部、将棋同好会の選手や監督ら14人。県大会などの成績報告のあと、各部の代表が「インターハイは高校最後の大会。県代表として一つでも多く勝てるよう頑張りたい」と決意を表明しました。津谷市長は「合川高校としては、君たちが最後の選手。このことを、しっかりと胸に刻んで頑張ってください」とし、選手一人ひとりに、激励のことばをかけながら固く握手を交わして、健闘を誓い合いました。

## 夢に向かって頑張れ

●小林範仁選手講演会



▲小林選手は、ジャンプ用スキー板などを持参し、児童らにスキーの重さを体感させていました

バンクーバー冬季オリンピックのスキノルデック複合競技で活躍した本市出身の小林範仁選手講演会が7月7日、米内沢小学校(佐藤高義校長)で行われ、児童らに夢に向かって頑張ることの大切さを伝えました。はじめに、金千咲季さん(6年)が「今日は、色々なお話を聞けることをすごく楽しみにしています」と児童を代表して歓迎のことばを述べました。小林選手は、夢をかなえる心構えとして「約束を守る」、「全力で取り組む」、「感謝の気持ちを持つ」とし、それぞれ具体例を説明し「この3つで必ず道が開けてくる。夢に向かって進めば、楽しいことが待っている」と児童らに夢に向かうことの素晴らしさを伝えました。